

当薬局をご利用いただく患者様へ

当薬局では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、ご参加をお断りいただけますので、薬局窓口にお申し出ください。参加をお断りになっても不利益を受けることは一切ありません。

研究課題名	介護老人福祉施設での 52 週間における減薬の実態調査研究
研究責任者	かもめ薬局岡本店 管理薬剤師 川岸 正尚
本研究の目的	高齢者の薬剤多剤併用（ポリファーマシー）は、以前は薬物有害事象のリスク増加、服薬過誤、アドヒアランス低下を呈す状態と捉えられていたが、近年では重複投与、過量処方及び有害事象のリスクの高い薬剤ならびに不要な薬剤の処方など、不適正な処方を含む概念として、その意味合いは拡大して用いられてきている。6 剤以上の併用により有害事象が増加する¹との報告もあり、特に高齢者における多剤併用は慎重に検討する必要がある。近年、政策的介入として、診療報酬改定によりポリファーマシーを抑制するための政策も複数施行されつつある。こういった環境下において、長期にわたる実臨床現場での減薬に関する実態調査の報告は少ない。本研究では、ある一定の背景下にある介護老人福祉施設という実臨床現場でのポリファーマシーの実態を評価することを目的として、52 週間における減薬という処方変容を調査し減薬理由を総合的に考察する。これにより、薬剤の適正使用に資するエビデンスを創出でき、実臨床現場におけるポリファーマシーのより効果的な回避の取り組みにつながると考える。 ¹ Kojima T et al : High risk of adverse drug reactions in elderly patients taking six or more drugs : analysis of inpatient database Geriatr Gerontol Int.12(4):761-762.2012
研究の方法	<対象患者> ア) 調査データ該当期間にかもめ薬局岡本店で処方箋を受け付けた患者 イ) 調査データ該当期間に介護老人福祉施設に入居している患者 <利用する情報> 患者服用薬歴等より、下記の調査項目を収集する。 年齢、性別、服用薬剤数、減薬された薬剤名、減薬理由
他の研究機関への情報提供および提供方法	該当無し
個人情報の取扱い	利用する情報には、氏名や住所等の患者を直接特定できる個人情報は含まれていません。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も個人を特定できる情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
問合先・研究への利用を拒否する場合の連絡先	本研究事務局 かもめ薬局岡本店 TEL:078-451-5551